



金融業界／銀行員

株式会社三井住友銀行 井須涼子さん

大谷高等学校出身
2015年法学部卒業

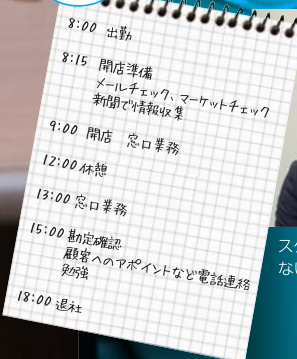
老若男女、すべての世代の人との関わりが
銀行の仕事の魅力だと感じます。

笑顔のまぶしい井須涼子さんが働いているのは三井住友銀行山本支店2階にある資産運用の相談カウンター。入社1年目の今はまだ先輩とともに接客していますが、いずれは一人で対応する予定です。担当する資産運用の相談は提案型なので、顧客のニーズを引き出すには何よりも会話が重要となります。世間話のきっかけづくりや社会情勢など情報収集のため、就職してからは毎朝、通勤途中に新聞に目を通すことが井須さんの日課となったそうです。

元来、人との会話が好きだったので、学生時代のアルバイトも接客業ばかり選んでいたと言う井須さんは、就職も、多くの人との関わりを持つことができる銀行を希望しました。今の業務は、顧客の悩みや希望を聞いたうえで商品を案内するというもの。「お客様のニーズに合った商品をご案内でき、感謝の言葉をもらった時にやりがいを感じます」と言い、中でも印象深い思い出は「火事に遭ったお客様が相談に来られ、号泣されたこと」だそうです。思いのたけをぶつけることができたその方は、後日、井須さんに会うために再入店されたいと言います。在学中にサッカーサークルのマネージャーとして人のサポートに徹していた経験とそこで身に付いた人に親身になる姿勢が、今の仕事でのそんなエピソードにつながるのかもしれない。

将来は、結婚・出産を経て、妻・母としての立場でも接客できるような行員を目指す井須さんは「堅い仕事と思われがちな銀行員ですが、優しい先輩も多く実際は自由な職場です」と明るく話してくれました。

ある1日の
スケジュール例



スケジュール帳、気になる記事などを集めた備忘録、情報収集に欠かせない新聞、ペンなどのほか、電卓やPCも必需品です。